



森下仁丹

株主の皆様へ

第89期 中間事業報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

森下仁丹株式会社

証券コード：4524



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第89期中間期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

森下 雄司

01 事業の概況について

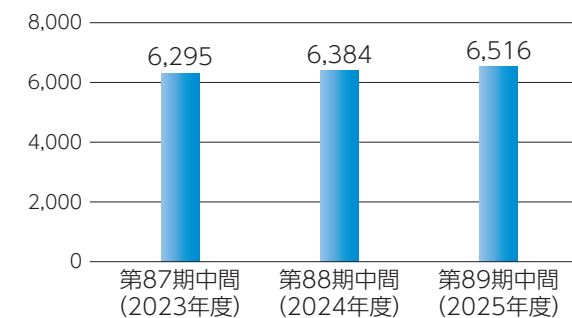
当中間連結会計期間におけるわが国経済の景気は、一部に弱い動きがみられつつも、緩やかに回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の通商政策の影響による景気後退への懸念や、物価高騰に伴う消費者マインドの下振れが個人消費に及ぼす影響など、景気を下押しするリスクが依然として存在し、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは、モノづくりの原点である「仁丹」から発展した「球体技術」及び「素材研究」を事業基盤とし、社会課題に対応した製品・サービスの開発・提供、シームレスカプセル受託事業、機能性原料の販売に取り組んでおります。これらの事業を通じて「健やかで豊かな社会の実現」に貢献するとともに、安定的かつ強固な収益基盤を構築すべく、次期事業展開を見据えた物流構造改革を推進しております。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高6,516百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益274百万円（前年同期比12.2%増）、経常利益298百万円（前年同期比13.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益216百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

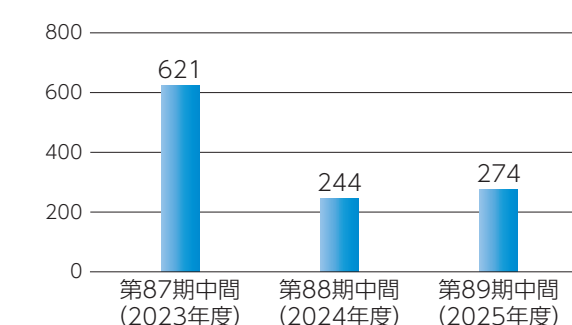
■ 売上高

（単位：百万円）



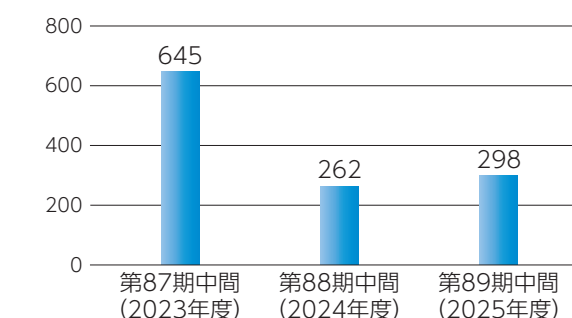
■ 営業利益

（単位：百万円）



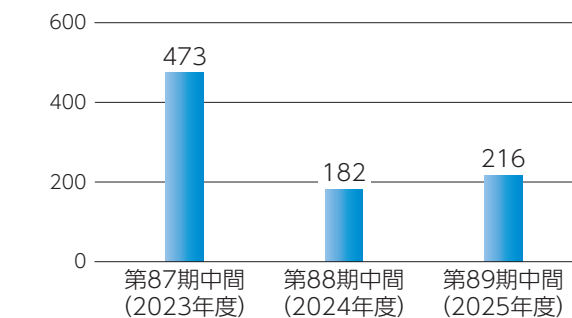
■ 経常利益

（単位：百万円）



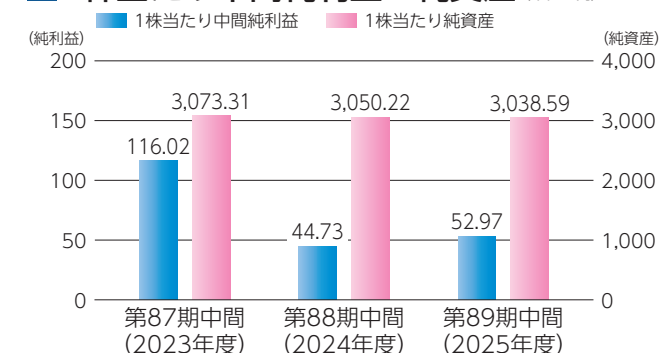
■ 親会社株主に帰属する中間純利益

（単位：百万円）



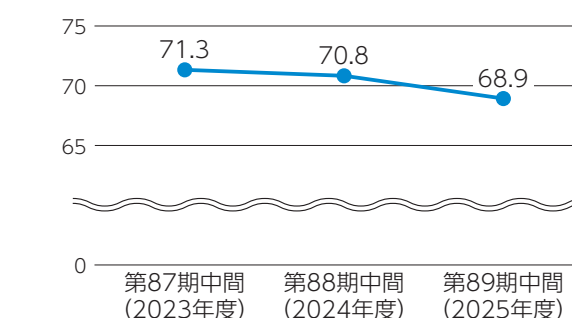
■ 1株当たり中間純利益・純資産

（単位：円）



■ 自己資本比率

（単位：%）

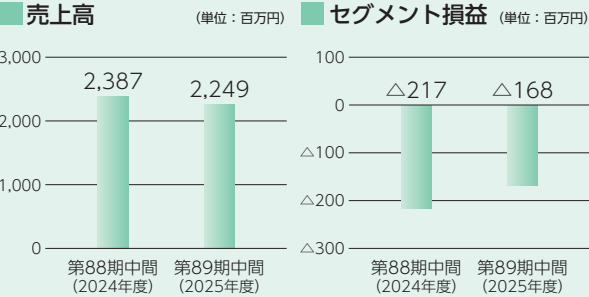


コンシューマー事業

自社製品・サービスを提供する

創業者 森下博は「飲みやすく、携帯・保存に便利な薬を作りたい」という思いで「仁丹」を開発しました。仁丹で培われた素材研究と技術から発展させた機能性素材とシームレスカプセル技術を応用し、健康課題に合わせた様々な製品やサービスを提供。国内での通信販売、小売業者・卸売業者様への販売に加え、海外展開も積極的に行っています。

当セグメントでは、2025年4月に発売した「タンサ脂肪酸」を始めとした腸テク®シリーズ3品の販売促進に注力しました。具体的には、ドラッグストアでの先行販売に続き、自社ECサイトやECモールでの販売拡大を図るため、当初下期に予定しておりましたプロモーション施策を前倒しで実施したことから、上期の販売コストが増加しました。なお、これは費用の発生時期が期ずれしたことによるものであり、通期の計画に変更はありません。これに加え、次期事業展開に向けた物流構造改革において、費用が当初予算を若干上回り、その費用を共通費として配賦したことにより、当セグメントの損益は、前年同期に発生した製品自主回収の影響が解消しましたが、セグメント損失となりました。このような状況のもと、売上高は、2,249百万円(前年同期比5.8%減)、セグメント損失は、168百万円(前年同期は、セグメント損失217百万円)となりました。

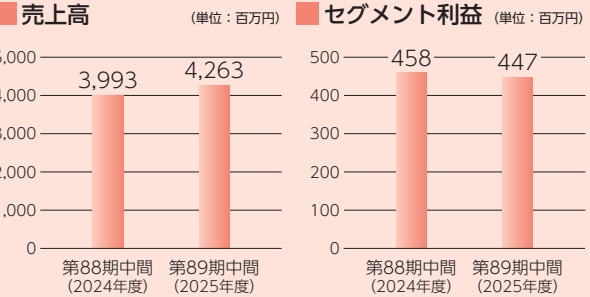


ソリューション事業

他社と協同しお客様の課題を解決する

製品・サービスの高付加価値化、差別化を一気通貫で支援。お客様の要望・課題に応えられるよう、当社が持つカプセル製剤技術・錠剤製剤技術・機能性素材と、他社の技術を組み合わせ、新しい価値を生み出しています。品質管理についても、医薬品GMP基準、または健康食品GMPを取得した工場で製造することで、国内外の企業様に安心と安全をお届けしています。

当セグメントでは、機能性原料販売において既存顧客からの受注に変動があり、前年同期比で受注量がやや減少いたしました。シームレスカプセル受託事業においては、ジェネリック医薬品である高脂血症用製剤(一般名：オメガ-3脂肪酸エチル)及び可食分野におけるフレーバーカプセル販売が引き続き好調となっております。また、コンシューマー事業と同様に、次期事業展開に向けた物流構造改革に伴う費用を共通費として配賦した結果、当セグメントは減益となりました。このような状況のもと、売上高は、4,263百万円(前年同期比6.7%増)、セグメント利益は、447百万円(前年同期比2.5%減)となりました。



売上高

2,249

百万円

34.5%

売上高構成比

売上高

4,263

百万円

65.4%

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当 中 間 連 結 会 計 期 間 (2025年9月30日現在)	前 連 結 会 計 年 度 (2025年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	7,657	8,187
固 定 資 産	10,427	9,708
有 形 固 定 資 産	5,793	5,509
無 形 固 定 資 産	276	265
投 資 そ の 他 の 資 産	4,357	3,933
資 産 合 計	18,085	17,896
負 債 の 部		
流 動 負 債	2,592	2,836
固 定 負 債	3,038	2,907
負 債 合 計	5,630	5,743
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	10,467	10,458
その他の包括利益累計額	1,987	1,693
純 資 産 合 計	12,454	12,152
負 債 ・ 純 資 産 合 計	18,085	17,896

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2025年4月 1日から 2025年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2024年4月 1日から 2024年9月30日まで)
売 上 高	6,516	6,384
売 上 原 価	3,458	3,567
売 上 総 利 益	3,058	2,817
販売費及び一般管理費	2,783	2,572
営 業 利 益	274	244
営 業 外 収 益	35	22
営 業 外 費 用	11	4
経 常 利 益	298	262
税金等調整前中間純利益	298	262
法人税、住民税及び事業税	85	53
法 人 税 等 調 整 額	△ 3	26
中 間 純 利 益	216	182
親会社株主に帰属する中間純利益	216	182

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2025年4月 1日から 2025年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2024年4月 1日から 2024年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	88	△ 117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 693	△ 354
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 274	222
現金及び現金同等物の増減額	△ 879	△ 248
現金及び現金同等物の期首残高	1,940	1,092
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,061	843

「Jintan Collagen EXCELL PUMP」香港にて先行販売

当社は、「Jintan Collagen EXCELL PUMP」(ジンタン コラーゲン エクセル ポンプ)を2025年11月上旬より香港にて先行販売しております。本製品は、インナーケアへの関心が高い香港の女性に向けて開発したもので、1本(50mL)あたり12,500mgのフィッシュコラーゲンペプチドを贅沢に配合しています。また、エラスチン、ヒアルロン酸、ビタミンB₂といった美容成分もバランスよく含んでいるのが特長です。さらに、コラーゲン特有のにおいを独自の配合技術により極限まで抑え、“きゅん”と酸味を効かせた爽やかなピーチ風味に仕上げました。忙しい毎日の美容習慣が、心華やぐりフレッシュタイムになるような美味しさを提供します。この度の香港市場への展開は、2025年3月に発売した「ビフィーナ®Slim」(ビフィーナスリム)に続くものであり、今後もアジアを始めとするその他の国々や地域へと展開を広げてまいります。



学生アスリートの腸内環境が機能性食品で改善

当社は、摂南大学、京都府立医科大学、太陽化学株式会社との共同研究で、摂南大学ラグビー部員を対象に食事介入試験を行い、機能性食品(カシス抽出物及びグアー豆食物繊維)の摂取によって腸内環境が改善することを明らかにしました。

本研究は、2020年9月に摂南大学が報告した研究の続報であり、アスリートはタンパク質過多の食事と高強度の運動により腸内環境が乱れやすいことや、機能性食品(カシス抽出物及びグアー豆食物繊維)の摂取により腸内環境が改善すること、特に、腸内環境が悪い選手ほど改善効果が大いことを明らかにしました。

今後も当社は、「健康の基本はおなかから」の考えのもと、様々な方々の腸内環境に役立つ研究を続けてまいります。



森下仁丹

Smart and Human
摂南大学京都府立医科大学
KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE太陽化学株式会社
TAIYO KAGAKU

地域の子どもたちのキャリア教育を支援 ―滋賀工場が教材に掲載されました

当社は、滋賀県内の小・中学生を対象としたキャリア教育副教材『中学生のためのお仕事ブック』及び『小学生のためのお仕事ノート』(2025年度版)に協賛し、地域企業の一つとして当社滋賀工場が紹介されました。

これらの教材では、当社のコア技術の一つである「シームレスカプセル」の製造工程や、製薬業界の魅力について紹介しています。児童・生徒が「働くこと」に関心をもち、将来のキャリアを考えるきっかけとなることを目指しています。

今後も当社は、事業活動を通じて地域社会とのつながりを大切にし、次世代を担う子どもたちの育成支援に積極的に取り組んでまいります。



出典:『中学生のためのお仕事ブック』『小学生のためのお仕事ノート』(2025年度版)

役 員

代表取締役社長	森 下 雄 司	取締役(社外取締役) (監査等委員)	石 原 真 弓
取締役	吉 田 秀 章		
取締役 (社外取締役)	末 川 久 幸	取締役(社外取締役) (監査等委員)	石 黒 訓
取締役 (社外取締役)	河 崎 保 徳	常務執行役員	石 田 英 嗣
取締役 (常勤監査等委員)	大 城 広 明	執行役員	地 主 紀 之
		執行役員	小 林 弘 明
		執行役員	伊 藤 和 水

ネットワーク

商 号	森下仁丹株式会社	MORISHITA JINTAN CO., LTD.
資 本 金	35億3,740万円	
事 業 の 内 容	医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、並びに食品などの製造及び販売	
事業所及び工場		
本 社	大阪府中央区玉造一丁目2番40号	電話 (06) 6761-1131 (代表)
大阪テクノセンター	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話 (072) 800-1040
滋 賀 工 場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話 (0749) 48-7370
東 京 オ フ ィ ス	東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F	電話 (03) 6206-8138

株主メモ

事業年度末日 3月31日

期 末 配 当 金 3月31日
受領株主確定日 (中間配当を行う場合 毎年9月30日)

定時株主総会 毎年6月

公 告 の 方 法 電子公告 (https://www.jintan.co.jp/ir/)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 スタンダード市場

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

当社コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトで各種情報を公開しております。

是非一度ご覧ください。

<https://www.jintan.co.jp/>



▲ トップページ



▲ IR情報